

各 位

2024年12月13日
株式会社インプレス

DAX関数の多様な使い方が身に付く
『できる DAX関数 Power BI&Excel パワーピボット対応』を
12月17日（火）に発売

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋隆志）は、大量のデータを集計する際に役立つDAX関数の使い方を解説した書籍『できる DAX関数 Power BI&Excel パワーピボット対応』を2024年12月17日（火）に発売いたします。



■DAX関数なら大量のデータを効率的に計算できる

DAX関数はPower BIやExcel Power Pivotで使える関数です。DAX関数を活用できれば、大量のデータを瞬時に処理・計算し、その結果を視覚化できます。身の回りの多くのものがデータ化されるようになり、それを分析してビジネスに活かすことは現代においては必須となっています。このため、DAXを理解し活用するスキルが多くの人々に求められていると言えます。本書はこのような背景を踏まえ、DAX関数の基礎から実践まで体系的に学べる一冊になっています。

■基本編と活用編の二部構成でしっかり身に付く

基本編と活用編の二部構成となっており、基本編ではDAX関数の基礎知識や最初に覚えておきたい関数を解説しています。活用編では時系列の分析、テーブルの操作など、目的ごとに章を分けて、各関数をリファレンス形式で解説しています。引数の概要やDAX関数の使用例など、関数を使うにあたっての情報をさまざまな角度から紹介しているため、実務に応用して使いこなせるようになります。

■本書は以下のような方におすすめです

- ・ データの集計や分析の業務を効率化したい人
- ・ Power BIやPower Pivotを使っている人
- ・ DAX関数を学びたい人

■紙面イメージ

01 Introduction この章で学ぶこと

DAX関数って何?

本書ではDAX関数を使って作成した列やメジャーの活用方法など、DAXの基礎知識と基本的な操作方法を学びます。DAX関数は大量のデータを集計・分析する際に、非常に便利な機能です。次のレッスンを読み始める前に、簡単にDAX関数の特徴を押さえておきましょう。

DAX関数はデータモデル内のデータを扱う関数

Power BIとかExcelを使いこなしている人から「DAX関数」って言葉は聞くけど、これって何ですか？

DAX関数は、簡単にいうとデータの集合体から新しい情報を計算したり、必要な値を取り出すための関数だよ。

Power BIの画面

DAXを使えば「データモデル」と呼ばれる複数のテーブルの集合体の中のデータを計算・整形・抽出できる

Power BIでPower Pivot以外のデータソースに接続し、複数のテーブルを1つの視として扱うことができます

外部のデータソース

Excelのワークシート関数との違い?

「関数」といえば、Excelのワークシート上でも関数を使いますが、それとは全く違うってことですか？

似ている部分もあるけど、DAX関数はいわばデータモデル用の関数! Excelのワークシート関数は、引数にワークシート上に存在するセル範囲やセルを指定したりするよね。一方で、DAX関数は外部に接続して構築したデータモデル内の列やテーブルを計算対象として使うんだ。

Power Pivotの画面

関数式内でデータをデータモデル内のテーブルや列を引数に指定する

関が混乱してきました……。こんな難しそうなことをしないでいいんじゃないですか？

DAX関数を使えば、より効率的に大量のデータを集計・分析に活用できるんだ! ここで100%理解できなくても大丈夫。DAX関数は何か、どう扱うかをこの章で解説していくよ! 操作方法は、Power BIとPower Pivotの両方の手順を紹介しているから、使っているアプリのほうを参照してね。

各章の冒頭にあるキャラクターのやり取りで要点が理解しやすい

10 別のテーブルの列を参照するには

RELATED関数

RELATED関数を使うと、別のテーブルにある列を参照できます。このレッスンでは、SUMX関数の引数として「販売価格」と、[M_種別] テーブルにある種別ごとの「目標粗利率」列を掛けた式を指定し、実際の粗利と比較するためのメジャーを作成します。

リレーションシップ関数 対応アプリ: Power BI / Power Pivot

別のテーブルにある指定の列の値を返す

=RELATED(ColumnName)

データモデルには複数のテーブルを持つことができるので、別のテーブルにある列との計算が必要になることがあります。その場合、ただテーブル名を付けて列名を記述しても参照はできないため、RELATED関数を使って呼び出します。

キーワード

- ファクトテーブル P.218
- マスタテーブル P.218
- リレーションシップ P.218

引数

ColumnName: 参照する列名を指定する

リレーションシップが設定されているテーブル間で列を参照できる

使いこなしのヒント

テーブル名「M_種別」の先頭にある「M_」とは？

テーブルには「マスタ」と「ファクト」の2種類のテーブルがあります。「M_種別」や「M_担当者」のように、一意の値を持つテーブルを「マスタテーブル」と呼びます。データモデルは1つのファクトテーブルと複数の「マスタテーブル」で構成されることが多いです。この練習用ファイルでは、マスタテーブルを見分けやすくなるためにテーブル名に「M_」を付けて区別しています。

練習用ファイル: LO10_RELATED関数.pbix / LO10_RELATED関数.xlsx

既習関数 「販売価格」と[M_種別] テーブルの「目標粗利率」を掛けてその合計を求める

=SUMX(販売データ,販売データ[販売価格]*RELATED(M_種別[目標粗利率]))

ポイント

ColumnName SUMX関数の式で使用する、[目標粗利率]列をテーブル名とともに指定する

Power BIの場合

- [データ] ペインで「販売データ」を選択
- 上記式の「目標粗利率」というメジャーを新規作成
- ページのビジュアルを選択
- [値] に「目標粗利率」を追加

各「種別」の目標粗利率が表示された

使いこなしのヒント

リレーションシップが設定されていないと使えない

RELATED関数ではリレーションシップの設定されているテーブル間で列を参照させることができます。エラーになる場合には、テーブル間のリレーションシップが正しく設定されているを確認しましょう。

使いこなしのヒント

メジャー名はなんでも良いの？

メジャー名は同じデータモデル内の他のメジャーや列と同じ名前を付けることはできません。また一部利用できない記号などがあります。ビジュアルやビジュアルでも表示されるので、分かりやすい名前を付けて管理しましょう。

イメージイラストも豊富に掲載しているから関数の働きが分かりやすい

■本書の構成

<基本編>

- 第1章 DAX関数について知ろう
- 第2章 よく使われる関数を使ってDAXへの理解を深めよう
- 第3章 日付テーブルの使い方を覚えよう

<活用編>

- 第4章 データ集計によく使われる関数を習得しよう
- 第5章 集計のための条件を指定するには
- 第6章 日付や時刻を使った計算をしよう
- 第7章 集計元のテーブルを自在に操ろう
- 第8章 知っておくと便利なその他の関数

■書誌情報



書名：できるDAX関数 Power BI&Excelパワービボット対応

著者：古澤登志美&できるシリーズ編集部

発売日：2024年12月17日（火）

ページ数：224ページ

サイズ：B5変型判

定価：2,420円（本体2,200円＋税10%）

電子版価格：2,420円（本体2,200円＋税10%）※インプレス直販価格

ISBN：978-4-295-02053-0

◇Amazonの書籍情報ページ：<https://www.amazon.co.jp/dp/4295020532>

◇インプレスの書籍情報ページ：

<https://book.impress.co.jp/books/1124101075>

◇書影ダウンロード：<https://dekiru.net/press/502053.jpg>

■著者プロフィール

古澤登志美（ふるさわ としみ）

株式会社ワンス・ワン代表取締役。中小企業診断士・ITコーディネータ。高校中退後様々な職と主婦生活を経て、2001年に起業。個人・法人問わずユーザー向けのITサポートと研修講師としてのスキルを重ねてきた。現在は「ITで仕事を楽しく」をモットーに、小規模事業者に向けた生産性向上のための支援や、各種研修などを全国各地で行っている。特に「ITが苦手」な人に喜んでいただけるお手伝いをすることが一番の幸せ。

<https://wans-one.co.jp>

■できるシリーズについて

<https://dekiru.net>

「できるシリーズ」は、わかりやすい丁寧な解説と、すべての操作が見える詳細な手順を掲載しているので、パソコンやアプリに不慣れでも理解しながら学習できます。本書は、基本編と活用編の2部構成となり、基本編では初心者にも役立つ情報を厳選し、活用編では中・上級者にも役立つ実践ワザを紹介しています。このため、1冊で基礎から応用まで、使い方が広がる学びを体験できるようになっています。レッスン1から順番通りに操作して学ぶことも、辞書のように知りたい項目を引いて読むこともできます。本書を読めば、きっと「気づき」や「手ごたえ」「新しい学び」を感じ取れるはずです。おかげさまで「できる」シリーズは、刊行開始から30周年を迎え、シリーズ累計8,000万部を突破しました。現在、シリーズ30周年を記念したWebサイトを開設しており、豪華賞品が当たるプレゼントキャンペーンの他、できるシリーズを執筆してきた著者陣のリレーコラムや特別コンテンツ「できるシリーズAI検索（ベータ版）」などをお楽しみいただけます。

▼「できる」シリーズ30周年記念サイト

<https://dekiru.net/30th>

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 8,000 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」をはじめとする企業向け IT 関連メディアなどを総合的に展開・運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL : <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問い合わせください。